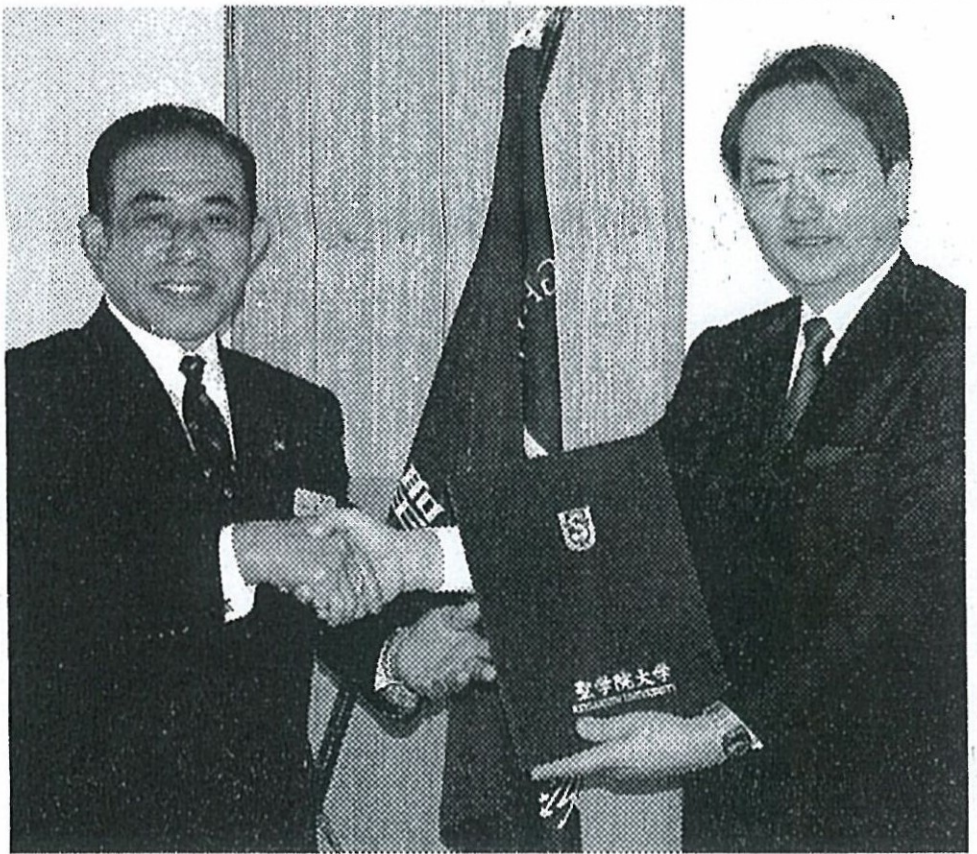


# 大学生が児童を指導

聖学院大と  
上尾市教委 学習支援で協定調印

上尾市の聖学院大（阿久戸光晴学長）と同市教育委員会（浅見勲教育長）は二十七日、同大で「教員を目指す学生による学習活動支援に関する協定書」に調印した。今後、教職課程を履修する同大學生が市立小学校に派遣され、児童の指導や教員の補助にあたる。同大と市教委は二〇〇四年六月、「学習支援ポランティア（学力向上支援員）派遣等に関する覚書」を締結しており、覚書の効力が今年三月末で切れたことを受け、同様の協定を結んだ。

また、同大は本年度から小学校教諭第一種免許を取得するための教育課程を設け、學生が児童の学習支援を経験すること



協定書に調印し、握手を交わす阿久戸学長（右）と浅見教育長—27日、上尾市戸崎の聖学院大

で、教員としての資質の向上を図る目的もある。調印式で阿久戸学長は「教育者としての人格の向上に大学を挙げて取り組んでおり、今回の調印

を機にさらに市と協力を深めていきたい」と述べ、浅見教育長は「上尾市にある大学が教員養成に励まれていることは、大変ありがたい。上尾の教育にお力添えをくだされば」とこたえていた。